香川大学におけるオープンキャンパス申込システムの内製開発
－申込データを教務システムに自動連携する機能の開発－

吉岡　里穂

香川大学 大学院創発科学研究科／同 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター

1. はじめに

- 志願者確保は大学経営における重要課題であり，オープンキャンパスは入試広報の主要施策である
- オープンキャンパス参加者の多くは進路決定時の参考としており，大学選択に大きな影響を与えている
- 一方で，オープンキャンパス参加情報と入学後の学籍情報は連携されておらず，参加から入学までの追跡分析が困難であった
- 申込情報と学籍情報を自動照合し，参加履歴を追跡可能とするオープンキャンパス申込システムを内製開発した

2. オープンキャンパス申込システム

- 本システムは，高校生のオープンキャンパス申込情報を教務システムの学生情報と照合し，オープンキャンパス参加履歴として教務システムに連携する（図1）
- API連携機能は，教務システムから学生情報を取得し，申込情報の氏名，生年月日，高校コードと照合して同一人物と認められる場合に，学生情報へオープンキャンパス参加履歴を自動で登録する（図2）
- 本システムにより，大学は学生がどの学部のオープンキャンパスに参加したか，参加者が実際に入学したかを把握できる

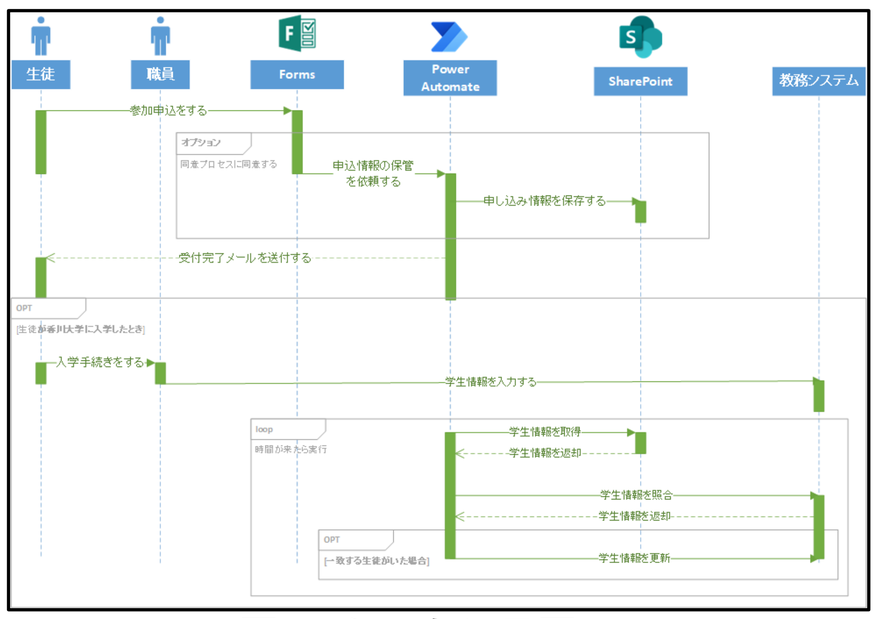

図1　シーケンス図

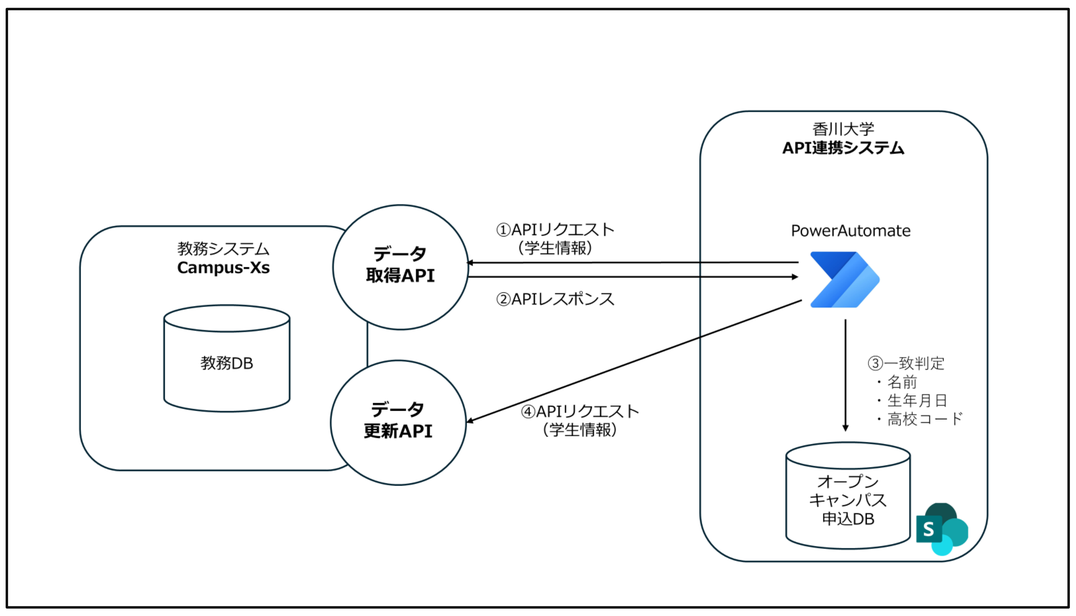

図2　システム概要図

3. オープンキャンパス申込状況分析機能

- オープンキャンパス申込状況分析機能（図3）では，参加者数，入学者数，学部別の入学状況，年度別の比較分析，参加と入学との関係を確認できる
- 本機能により，入試広報施策の効果測定やオープンキャンパス企画の分析が可能になる
- 大学は，これらの分析結果を踏まえてエンロールメント・マネジメントを実践できる

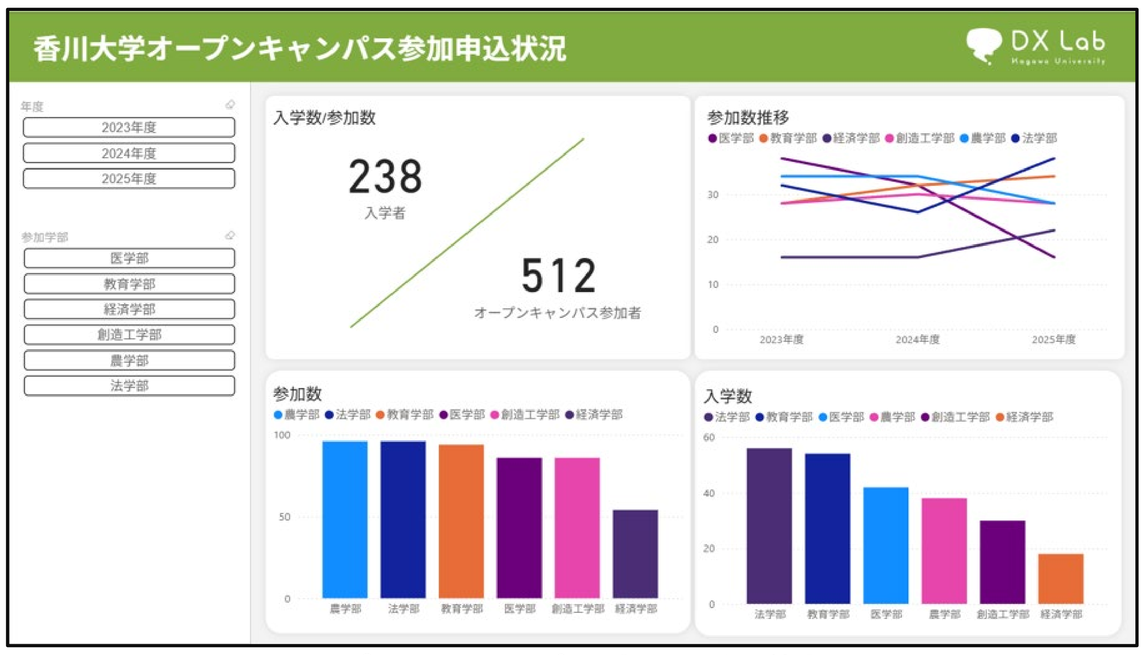

図3　オープンキャンパス申込状況分析画面

4. まとめ

- 香川大学におけるオープンキャンパス申込システムを内製開発した
- 本システムは，申込情報と学籍情報を自動照合し，参加履歴を教務システムへ自動で登録する機能を有する
- オープンキャンパス参加者と入学者の関係を可視化する仕組みを実現した
- 本システムは入試広報施策の効果測定およびエンロールメント・マネジメントの実現に貢献する